

平成26年度 障害者虐待防止法に係る 大阪府内の対応状況について



平成26年度(平成26年4月～平成27年3月) 大阪府内及び全国の障がい者虐待の対応状況

	養護者による障がい者虐待		障がい者福祉施設従事者等による障がい者虐待		使用者による障がい者虐待 (市町村・都道府県で通報等受理数)		※[参考] 労働局の対応 使用者による障がい者虐待	
	大阪府	全国	大阪府	全国	大阪府	全国	大阪府	全国
相談・通報・届出件数	770件 (722件)	4,458件 (4,635件)	147件 (152件)	1,746件 (1,860件)	33件 (40件)	664件 (628件)	84 事業所 (55)	985 事業所 (775)
虐待と判断した(または受けたと思われた)件数	272件 (297件)	1,666件 (1,764件)	27件 (22件)	311件 (263件)	—	—	27 事業所 (18)	299 事業所 (253)
被虐待者数	272人 (297人)	1,695人 (1,811人)	53人※ (98人)	525人※ (455人)	—	—	38人 (25人)	483人 (393人)

●()内は、平成25年度(平成25年4月～26年3月)の対応状況。

●労働局での対応について、相談受理件数は都道府県からの労働相談票の報告と労働局部署での把握件数を含む。

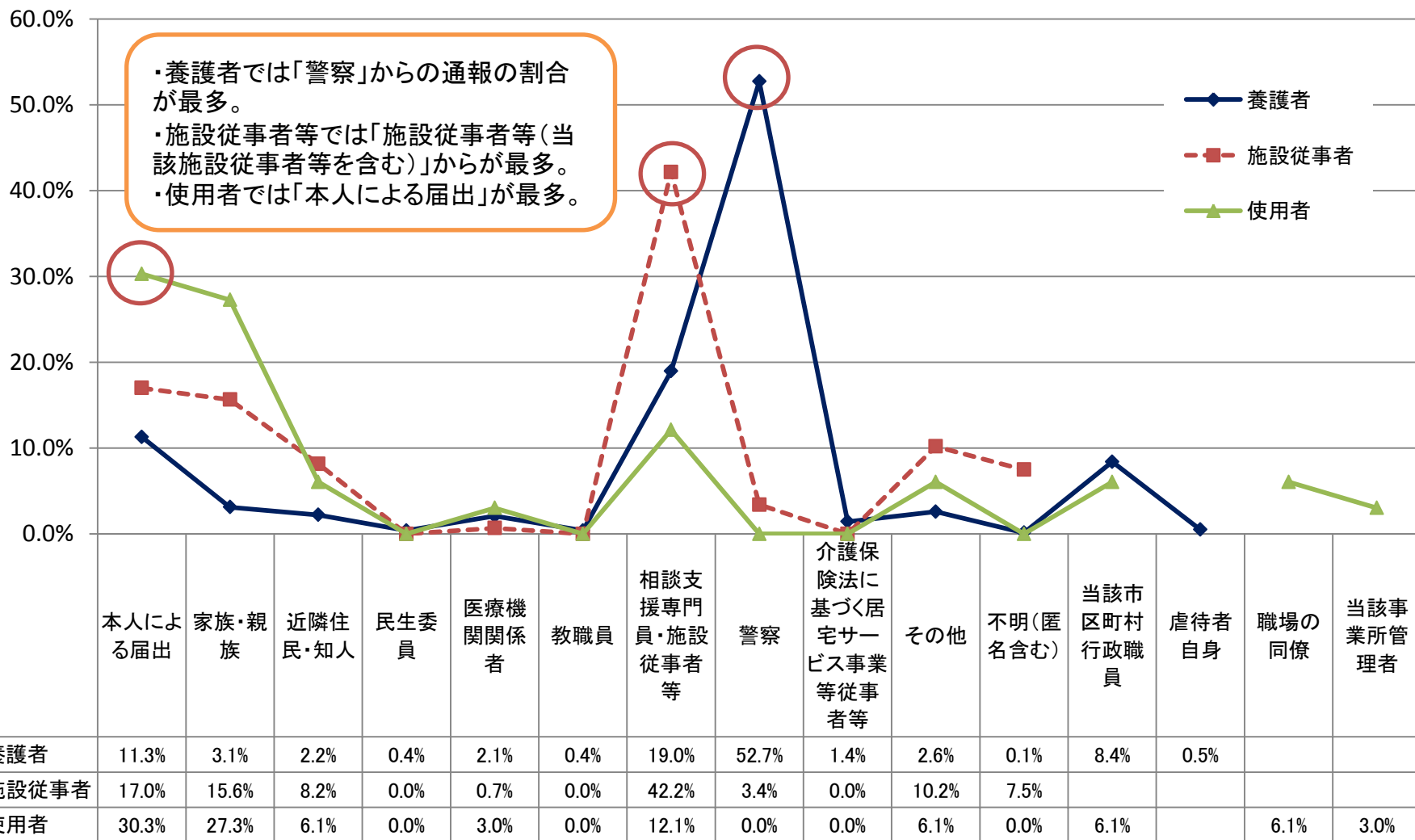
※府：施設・被虐待者の人数については、被虐待者を特定できなかった1件の人数を除く。

※全国：施設・被虐待者の人数については、被虐待者を特定できなかった6件の人数を除く。

大阪府の状況

～養護者・施設従事者・使用者の比較～

～通報・届出・相談者の割合の比較～

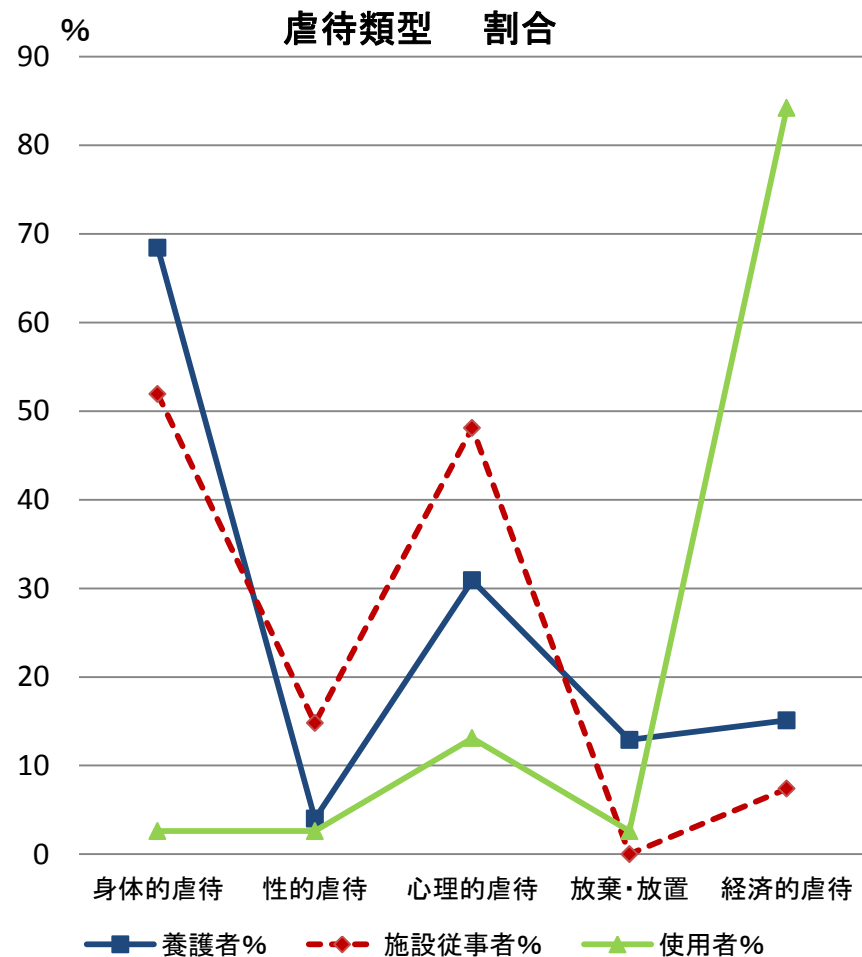
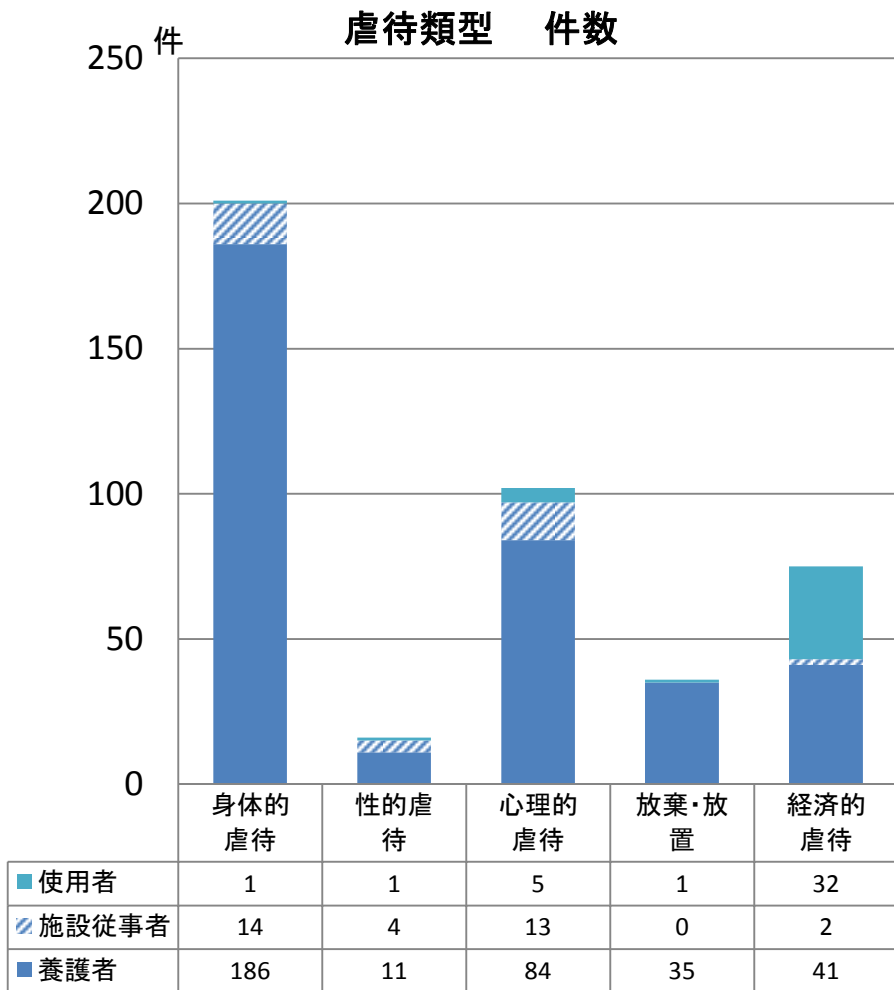


※グラフは、府内の通報件数の養護者770件、施設従事者147件、使用者33件に対するそれぞれの割合を表す。

※空欄は、調査項目に選択肢がないもの。

※施設従事者の「相談支援専門員・施設従事者等」42.2%については、「当該施設以外の施設従事者」からのものが17.0%となっている。

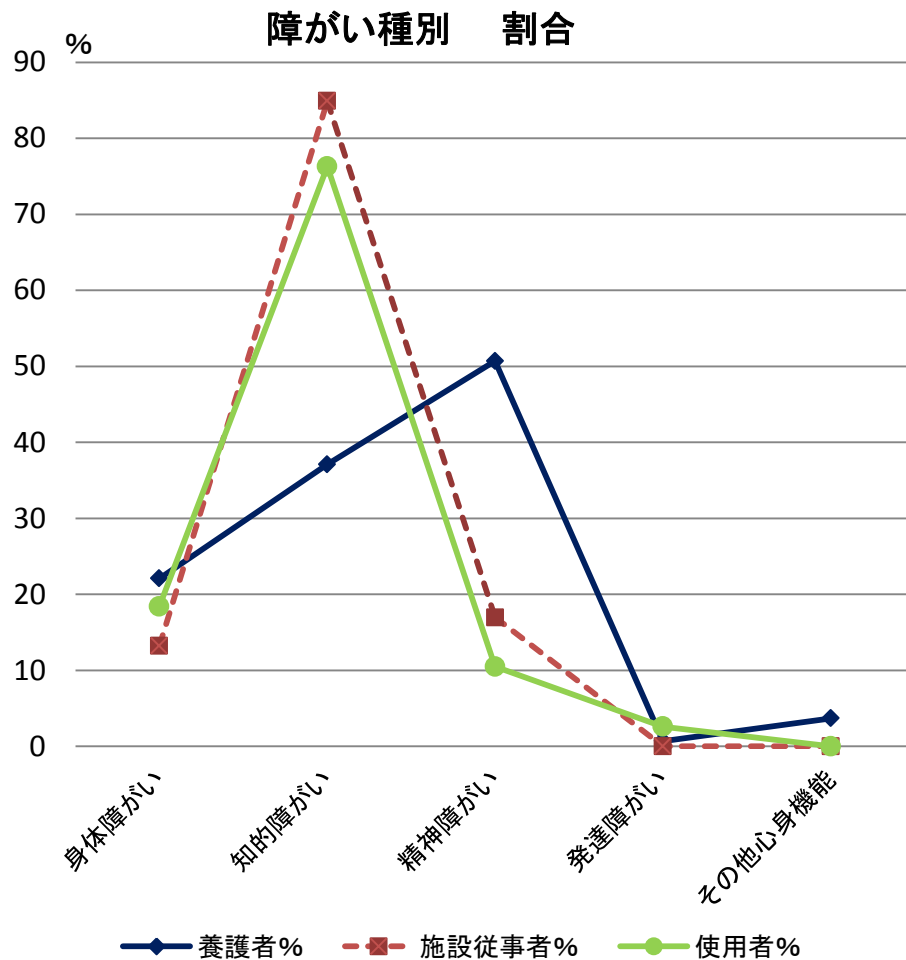
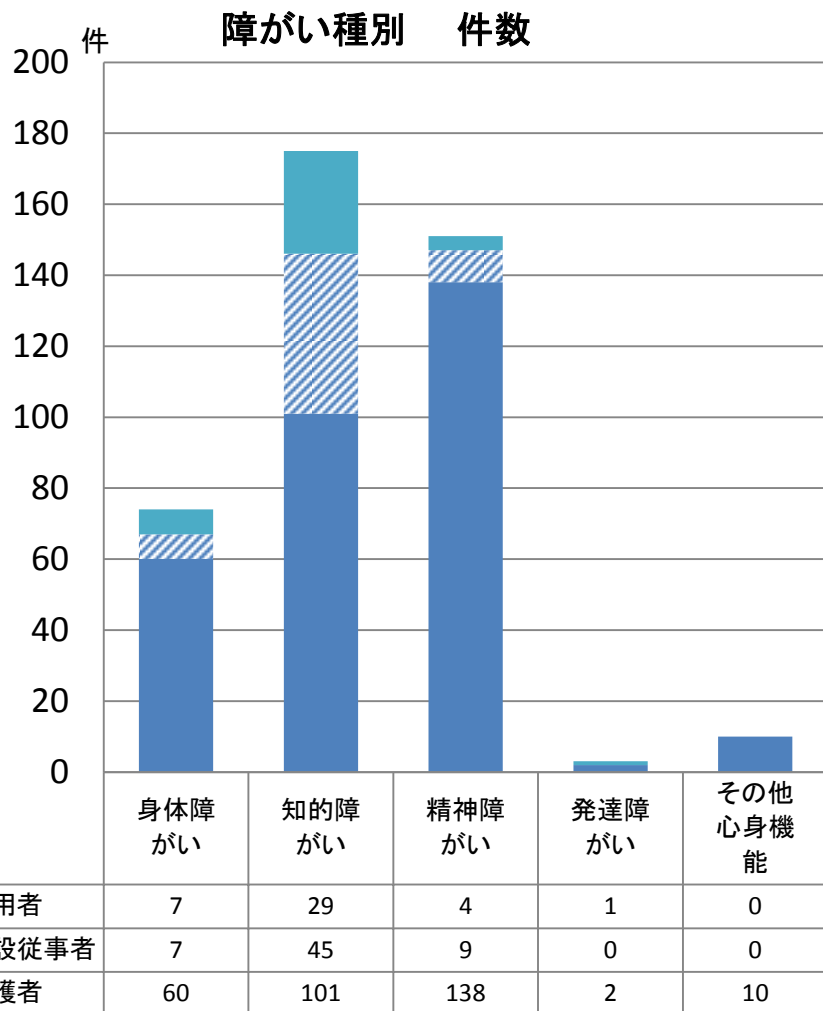
虐待類型との関係



※複数の虐待類型がある場合には、それぞれの項目に重複して計上している。
 ※割合については、養護者272件・施設従事者27件・使用者それぞれの虐待認定件数に対する割合を示す。
 ※以下、使用者については、労働局で認定した府内全体の虐待件数の内訳。

・養護者および施設従事者等では「身体的虐待」の割合が最多に対し、使用者では「経済的虐待」が最多。

被虐待者の障がい種別との関係

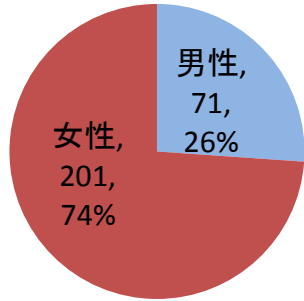


※重複障がいのある方は、該当する項目にそれぞれ計上している。

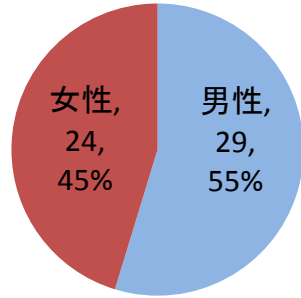
- ・養護者では「精神障がい」の割合が高い。
- ・施設従事者等・使用者では「知的障がい」の割合がかなり高い。

被虐待者の性別・年齢

養護者 性別

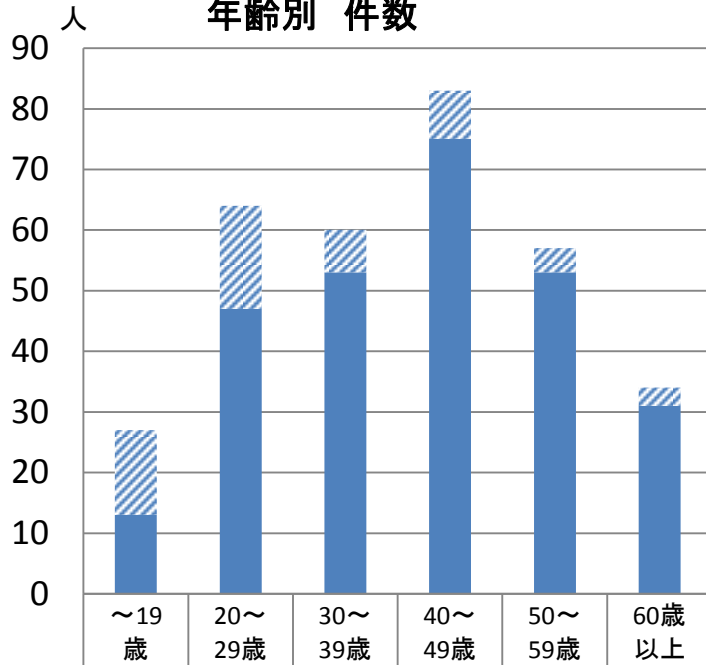


施設従事者 性別



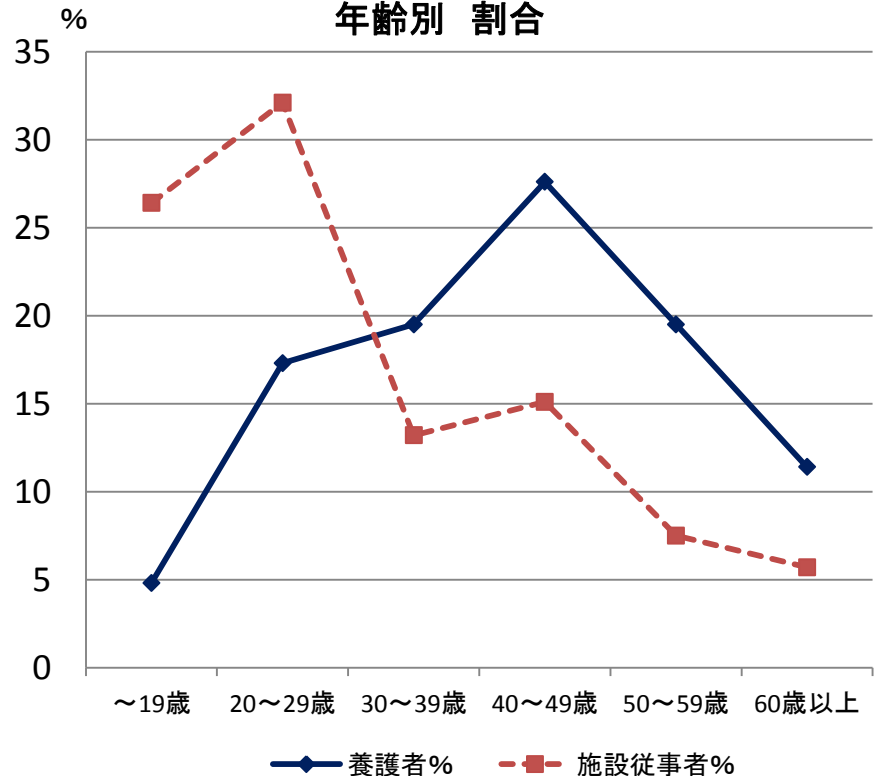
・性別では、養護者虐待では女性の被虐待者が多く、施設従事者虐待では男性の方が多い。
 ・年齢では、施設従事者虐待では、20代以下が58.5%、養護者は40代が最多で27.6%、30代～50代で66.6%になっており、施設従事者による虐待の方が若い方が被虐待者になっている割合が高い。

年齢別 件数



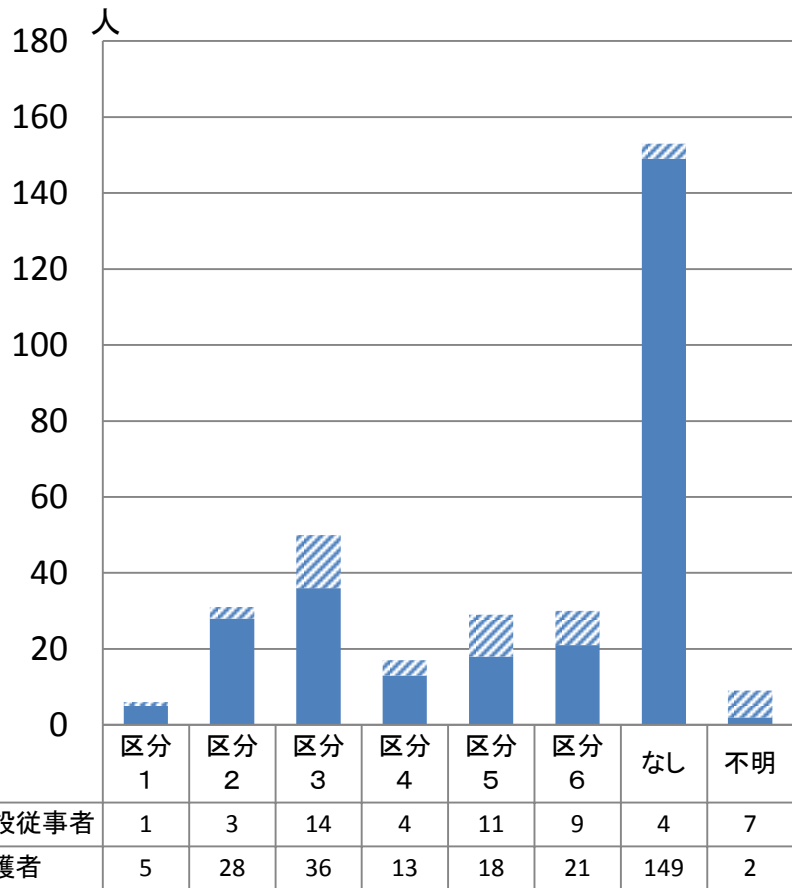
	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上
施設従事者	14	17	7	8	4	3
養護者	13	47	53	75	53	31

年齢別 割合

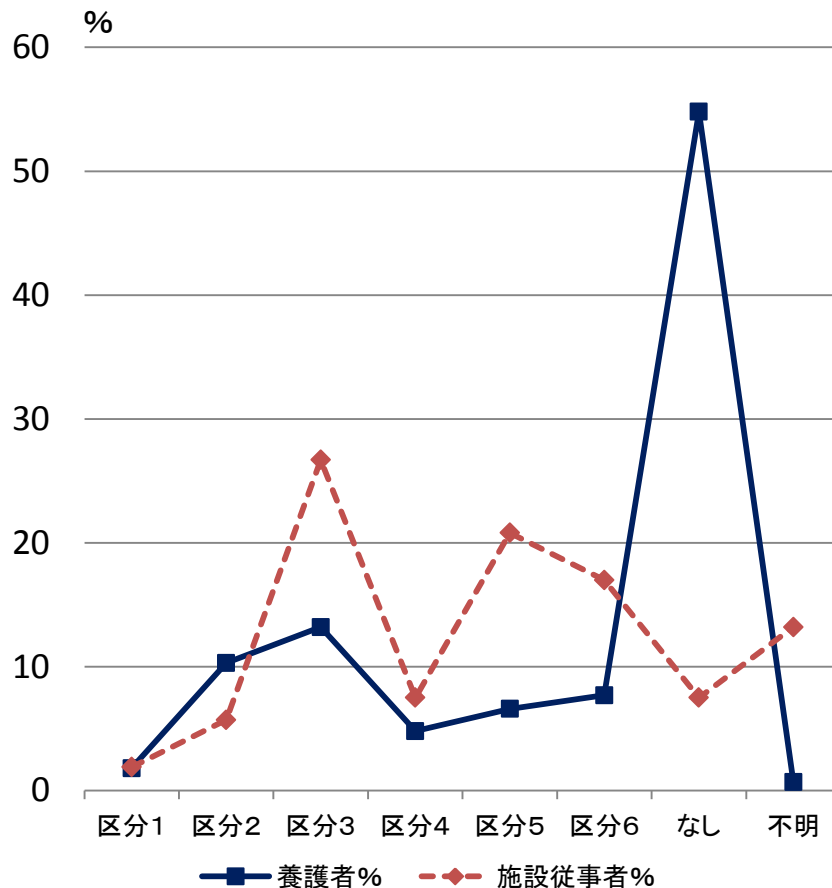


被虐待者の障がい支援区分

障がい支援区分 人数



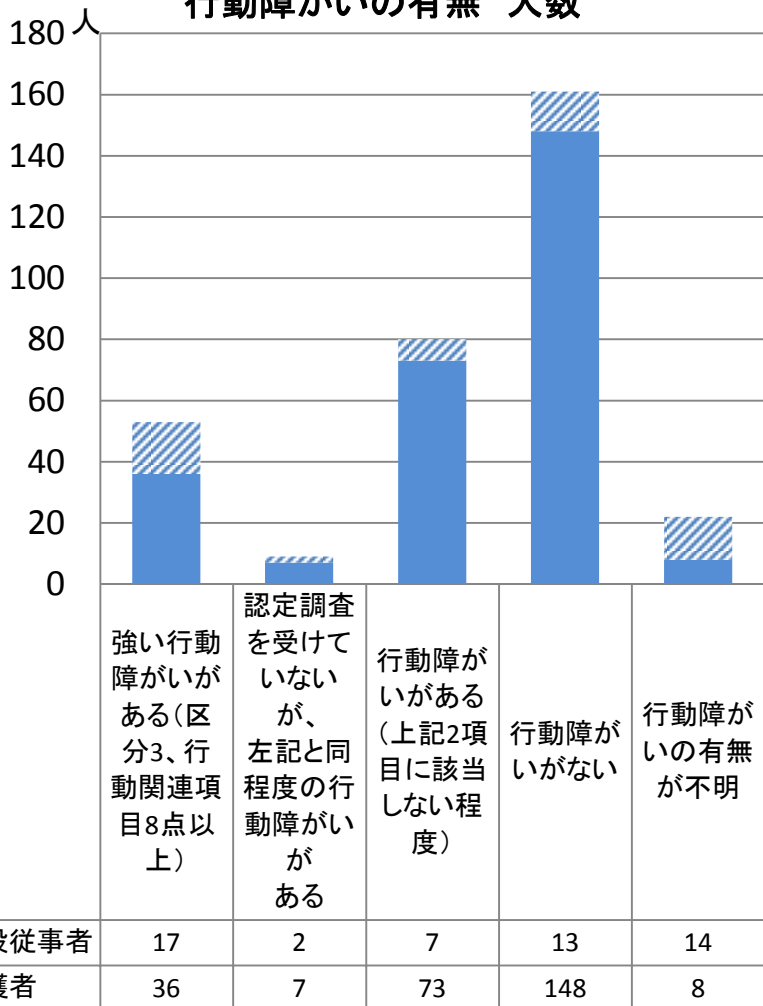
障がい支援区分 割合



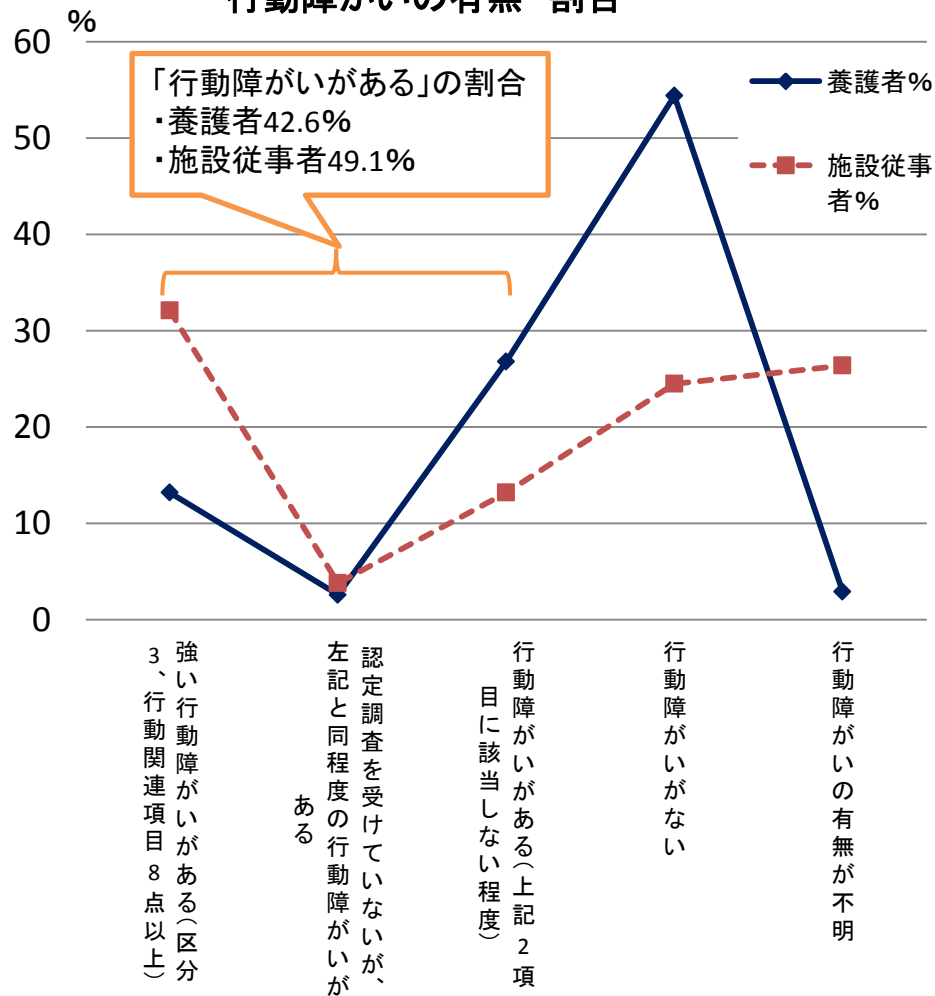
- ・養護者では、障がい支援区分「なし」が54.8%で半数を超え、障がい支援区分の中では、「区分2」、「区分3」の割合が高く、合わせて23.5%となっている。
- ・施設従事者等では、最も多いのは「区分3」で26.4%。

行動障がいとの関係

行動障がいの有無 人数



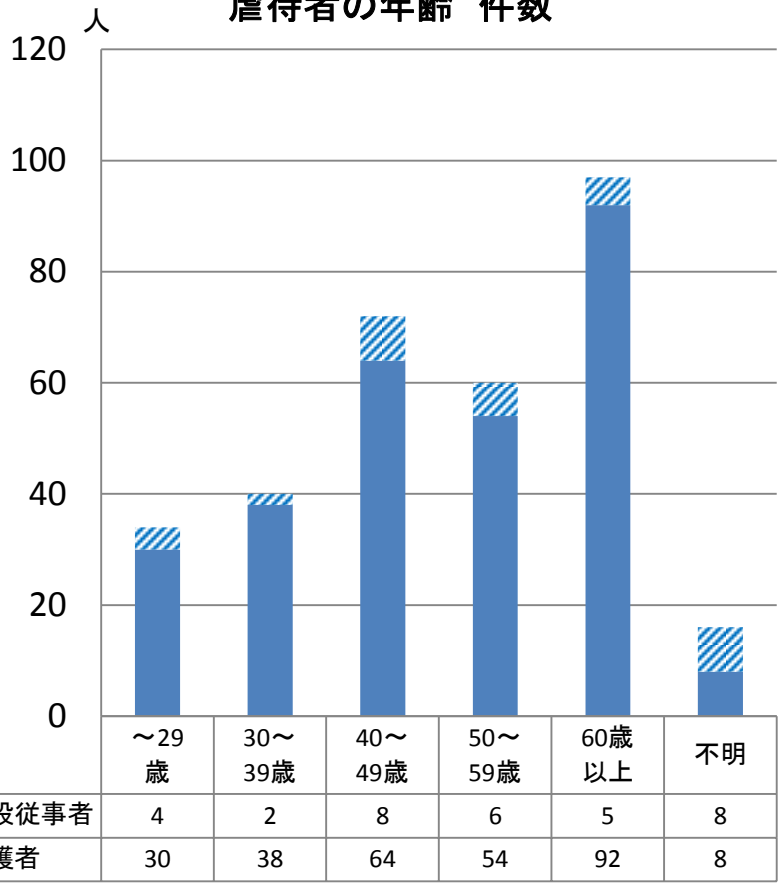
行動障がいの有無 割合



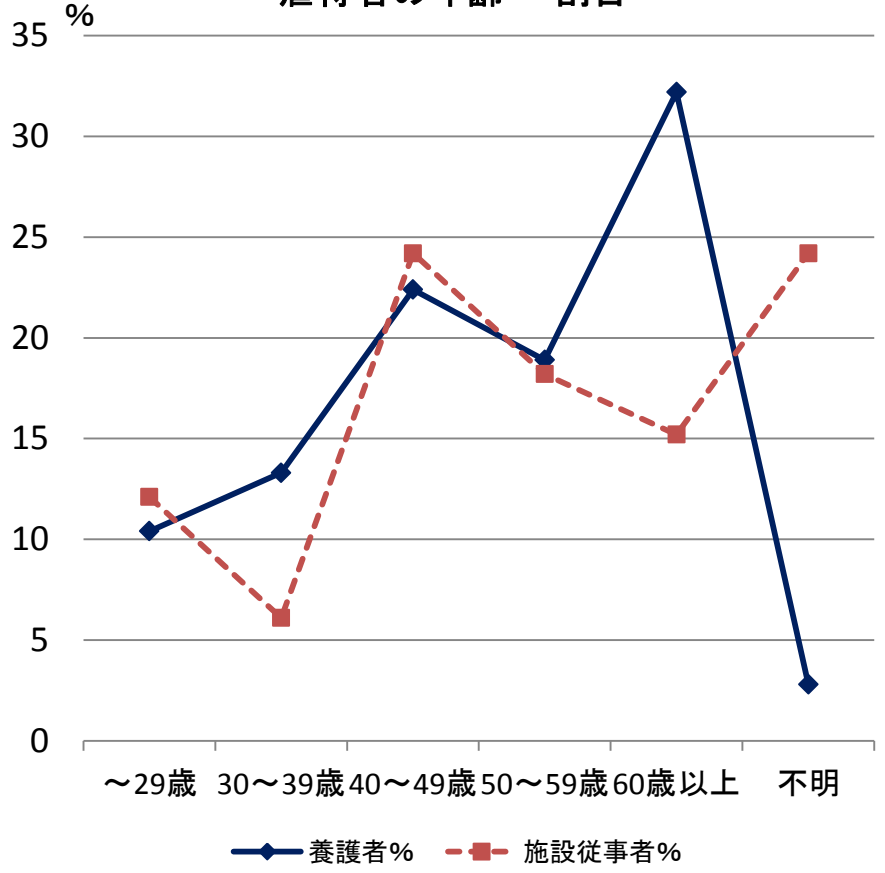
・行動障がいとの関係では、被虐待者のうち養護者では42.6%、施設従事者では49.1%の方が「行動障がいがある」という結果であった。

虐待者の年齢

虐待者の年齢 件数



虐待者の年齢 割合



・養護者では、60歳以上の割合が高いことに対し、施設従事者では40～49歳の割合が高い。

全国の状況と大阪府との比較

～養護者・施設従事者・使用者 それぞれの傾向～

養護者による虐待について

< 養護者による虐待 >

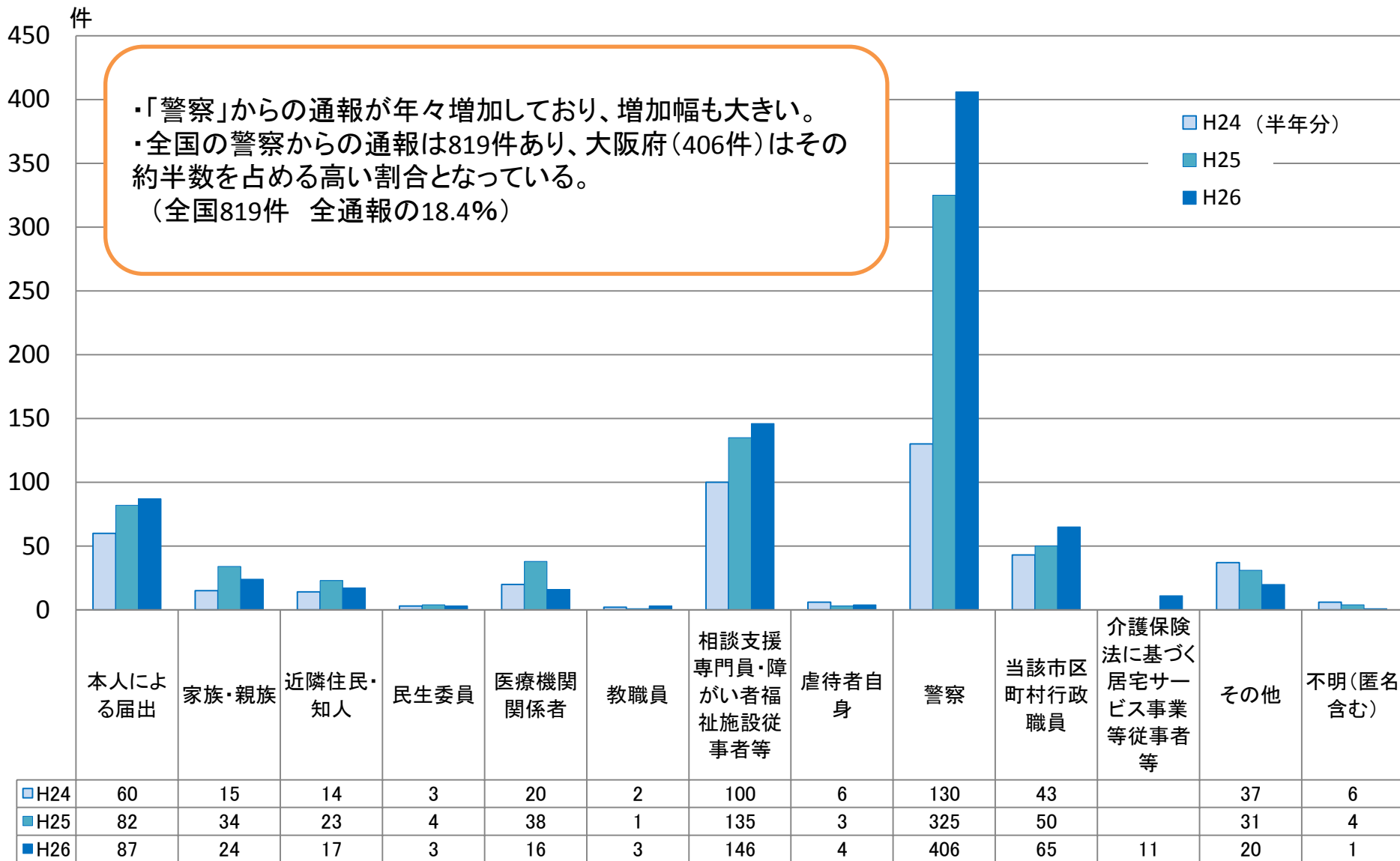
(H26) 都道府県別に見た養護者による障がい者虐待

※虐待判断件数順

	相談・通報 件数	虐待判断 件数		相談・通報 件数	虐待判断 件数		相談・通報 件数	虐待判断 件数		相談・通報 件数	虐待判断 件数
1大阪府	770	272	13愛媛県	72	39	25石川県	59	19	37奈良県	33	12
2東京都	306	110	14沖縄県	90	38	26鹿児島県	71	19	38岩手県	26	11
3愛知県	216	102	15新潟県	59	37	27群馬県	81	18	39大分県	36	9
4神奈川県	258	99	16長野県	58	35	28熊本県	45	18	40徳島県	29	8
5埼玉県	165	77	17三重県	72	34	29宮崎県	65	18	41高知県	30	8
6北海道	270	69	18茨城県	66	31	30鳥取県	28	16	42富山県	28	7
7千葉県	184	67	19岡山県	63	28	31山口県	39	16	43福井県	22	7
8滋賀県	120	56	20宮城県	48	27	32山形県	34	14	44山梨県	24	7
9静岡県	113	47	21広島県	120	26	33香川県	38	14	45青森県	27	5
10兵庫県	179	47	22福島県	44	25	34岐阜県	42	13	46栃木県	22	5
11福岡県	170	45	23長崎県	37	23	35和歌山県	34	13	47佐賀県	32	4
12京都府	72	39	24島根県	38	20	36秋田県	23	12	合計	4,458	1,666

< 養護者による虐待 >

通報・届出・相談者の内訳

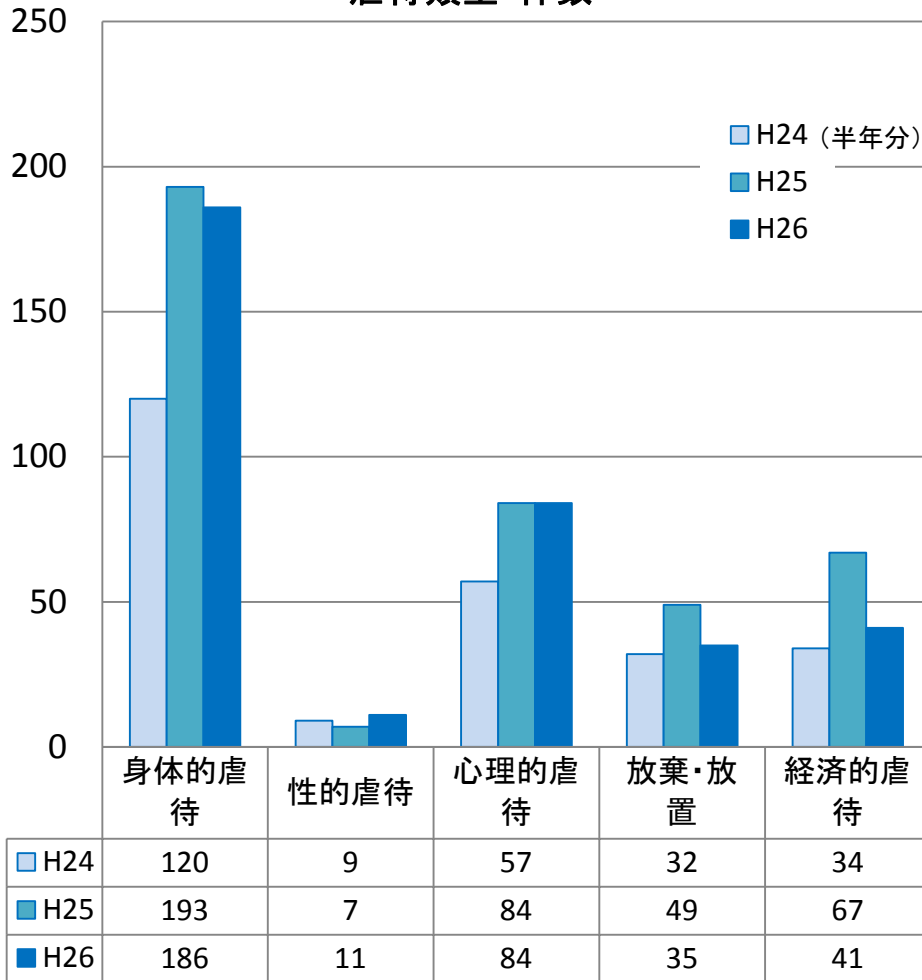


※複数回答有 ※H24年度については半年間の調査
 ※通報件数: H24年度429件、H25年度722件、H26 年度770件

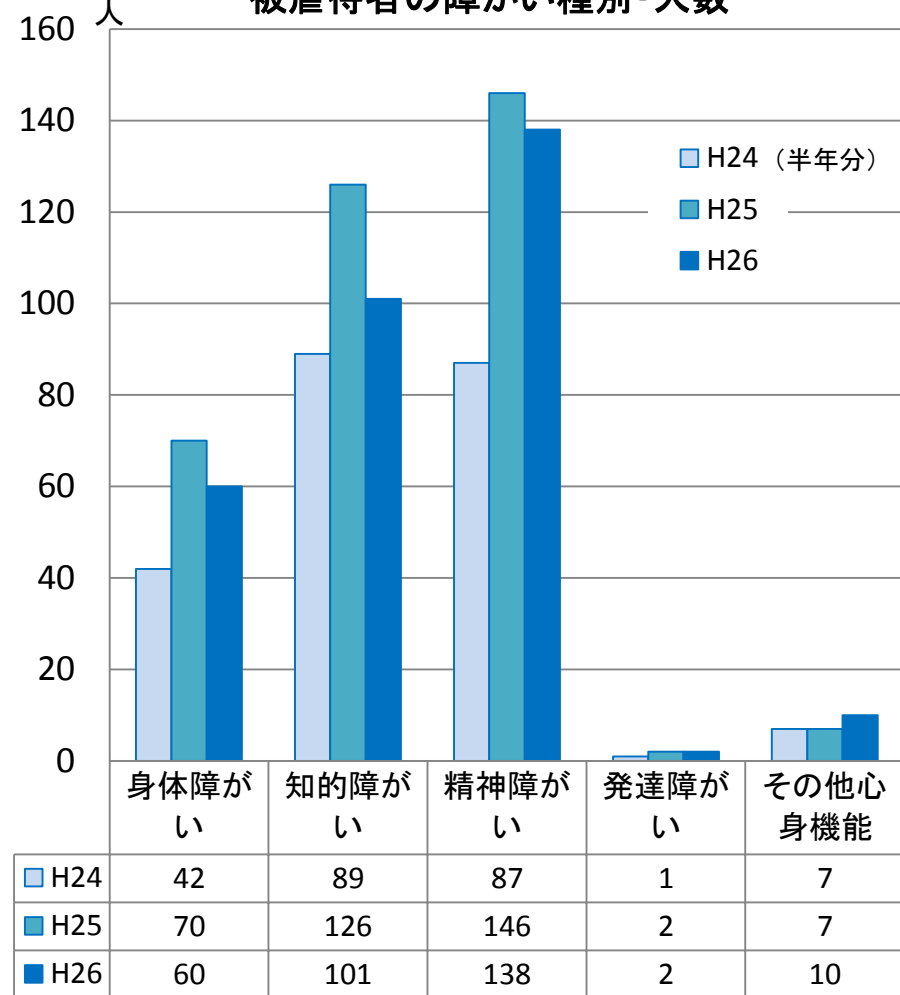
※グラフ内の数字が空欄のものについては、当該年度の調査で、調査項目自体が無かったものを表す。

虐待の類型・被虐待者の障がい種別

虐待類型・件数



被虐待者の障がい種別・人数



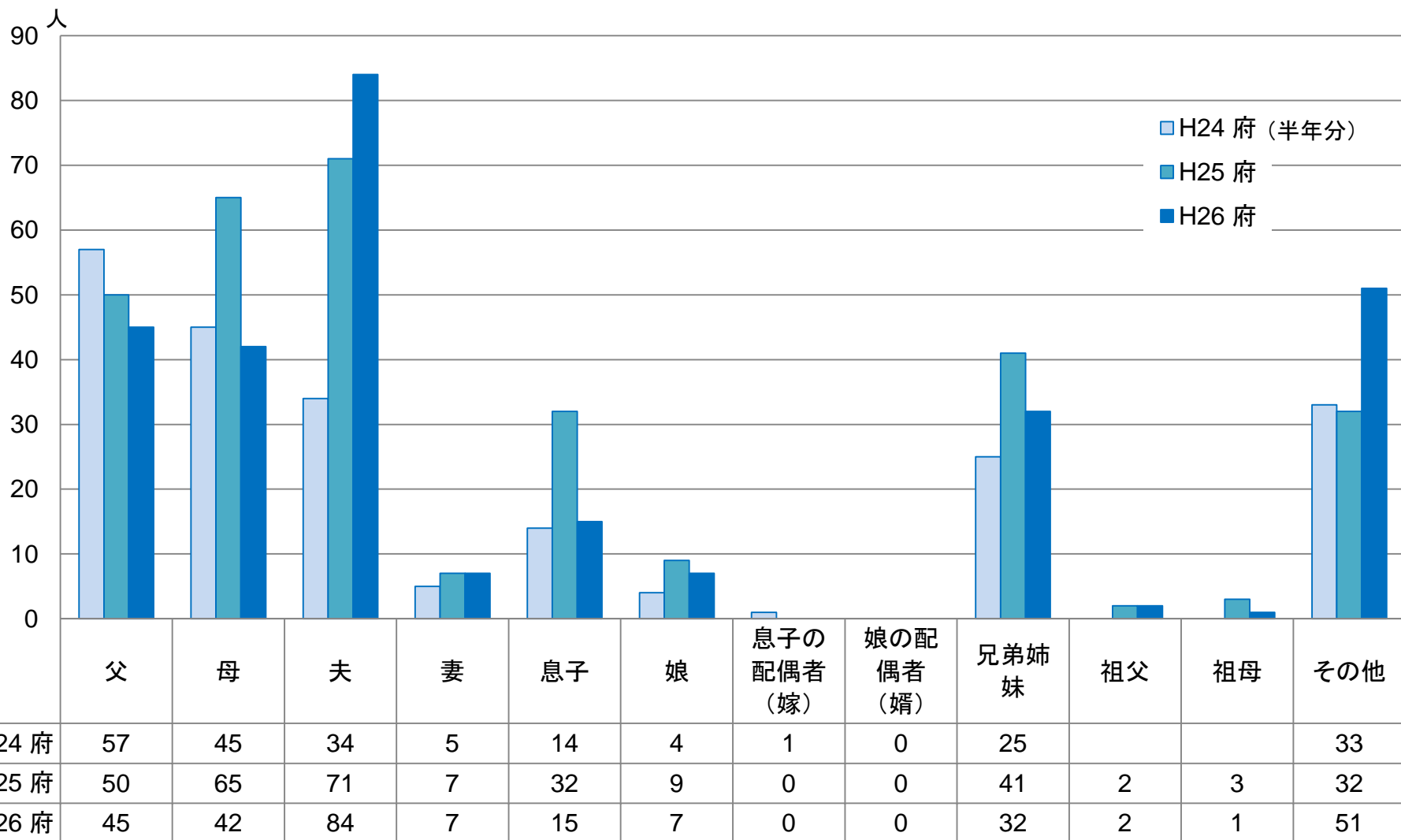
※複数回答有

※虐待と判断した(または受けたと思われる)件数:

H24年度199件、H25年度297件、H26年度272件の内数

・H25、H26 共に虐待類型では「身体的虐待」が最多。被虐待者の障がい種別では、「精神障がい」が最多。
 ・H26全国では、被虐待者が「知的障がい」の割合が最多

被虐待者からみた虐待者の続柄

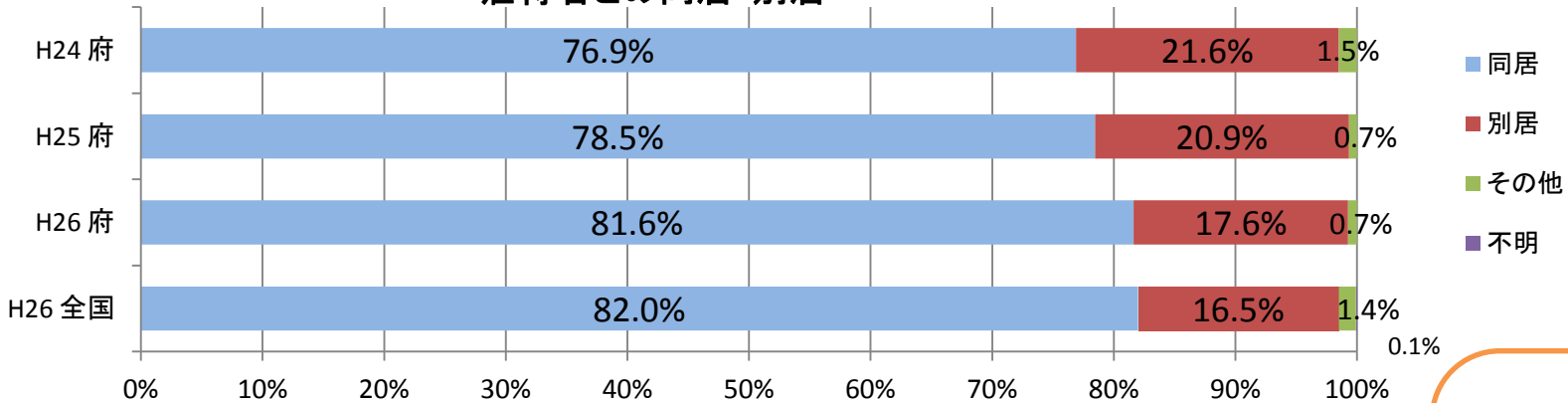


・H25からH26で、「父」「母」「息子」「兄弟姉妹」の割合が減少、「夫」が増加。「その他」の内訳では、「内縁」や「交際相手」の割合が多い。

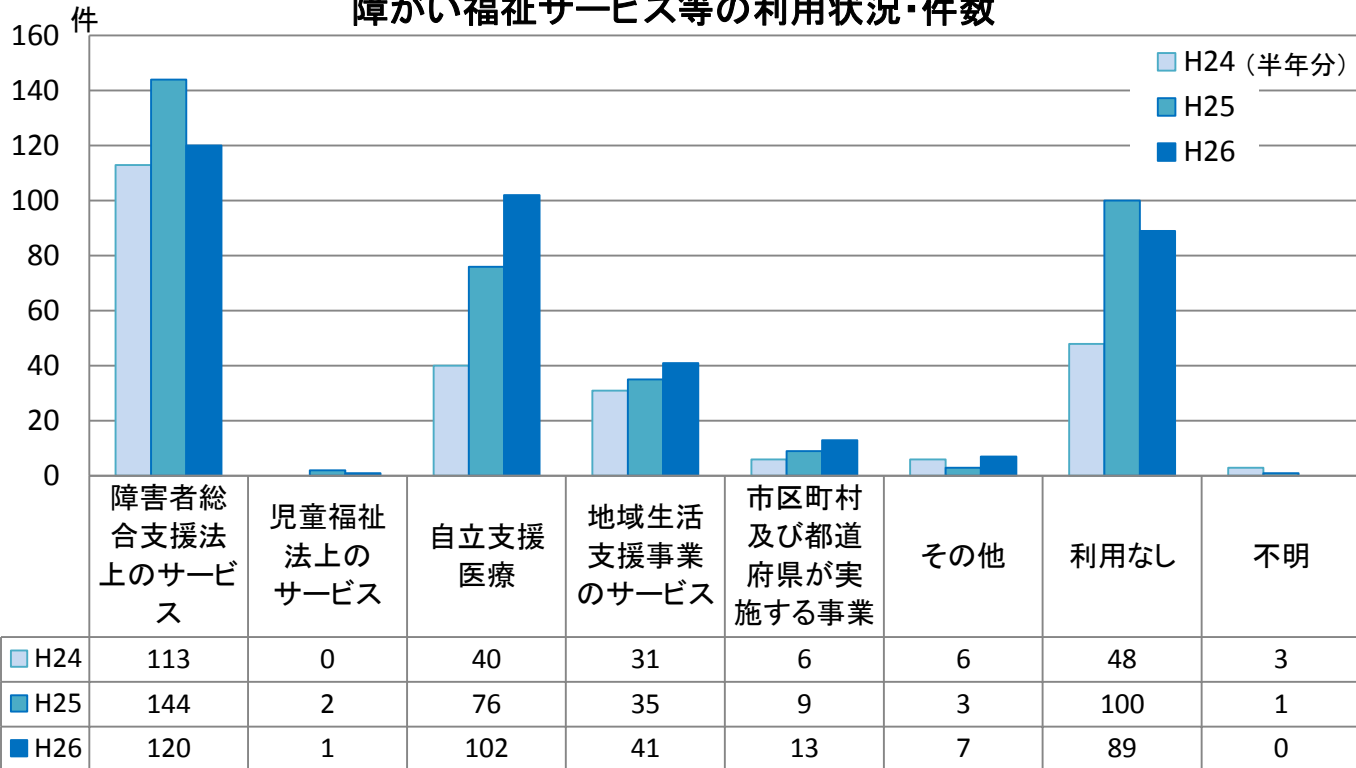
・H26の大阪府の「夫」の割合は、29.4%で最多。(参考：H26年度の全国・夫15.9%)

被虐待者の状況

虐待者との同居・別居



障がい福祉サービス等の利用状況・件数



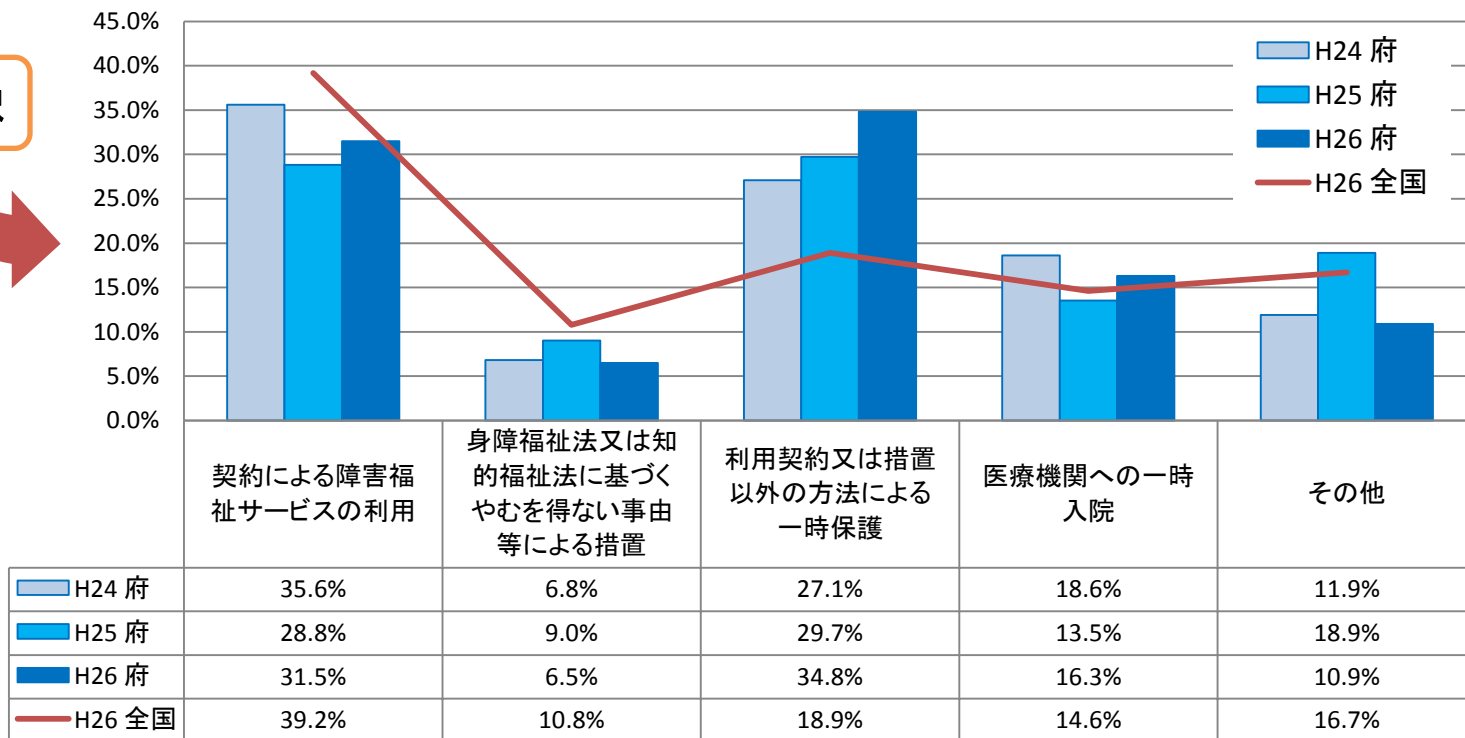
・同居・別居の内訳では、府では「同居」の割合が若干増加傾向。

・サービスの利用状況では、H25年度よりも「自立支援医療」の件数が増加。

分離の有無

	被虐待者の保護と虐待者からの分離を行った	被虐待者が複数で異なる対応(分離と非分離)を行った	分離していない事例 (一度も分離していない)	現在対応について検討・調整中	その他	合計
H25 府	111件 (37.4%)	0件 (0.0%)	172件 (57.9%)	8件 (2.7%)	6件 (2.0%)	297件
H26 府	92件 (33.8%)	0件 (0.0%)	147件 (54.0%)	7件 (2.6%)	26件 (9.6%)	272件
H26 全国	694件 (41.6%)	5件 (0.3%)	735件 (44.1%)	91件 (5.5%)	141件 (8.5%)	1,666件

分離の内訳



障がい者福祉施設従事者等による 虐待について

<施設従事者等による虐待>

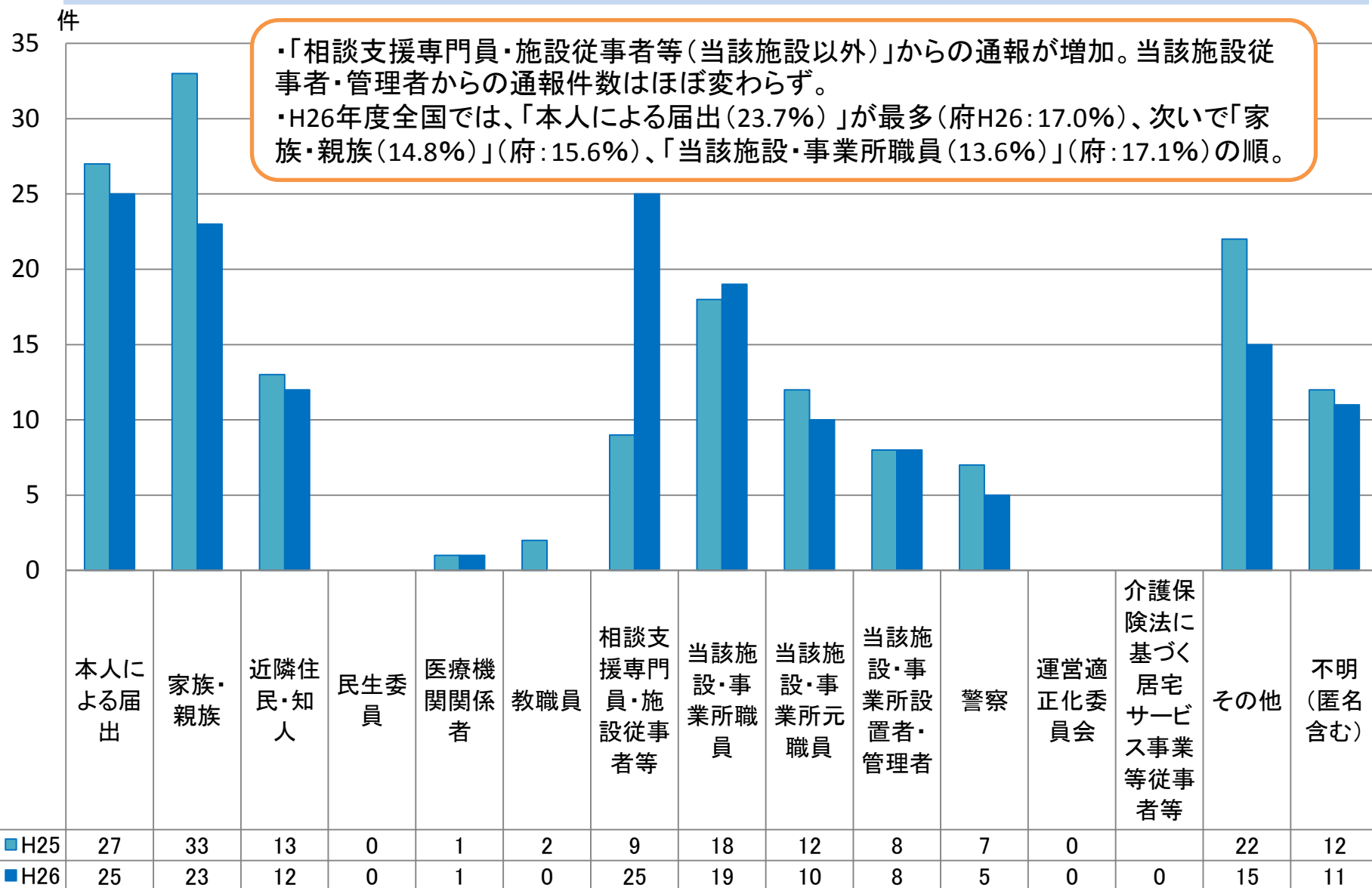
(H26)都道府県別に見た障がい者福祉施設従事者等による障がい者虐待

※虐待判断件数順

	相談・通報 件数	虐待判断 件数		相談・通報 件数	虐待判断 件数		相談・通報 件数	虐待判断 件数		相談・通報 件数	虐待判断 件数
1大阪府	147	27	13滋賀県	35	9	25徳島県	28	5	37富山県	10	1
2東京都	197	26	14京都府	23	9	26佐賀県	15	5	38山梨県	11	1
3千葉県	77	20	15島根県	21	9	27熊本県	24	5	39山口県	10	1
4兵庫県	93	18	16広島県	37	9	28三重県	27	4	40香川県	22	1
5愛知県	75	16	17沖縄県	24	8	29青森県	23	3	41愛媛県	9	1
6神奈川県	201	15	18静岡県	32	7	30茨城県	22	3	42高知県	7	1
7長崎県	38	14	19福岡県	73	7	31秋田県	11	2	43大分県	14	1
8群馬県	33	10	20長野県	37	6	32福島県	13	2	44鹿児島県	28	1
9宮崎県	15	10	21山形県	12	5	33石川県	20	2	45岩手県	4	0
10北海道	71	9	22福井県	8	5	34奈良県	14	2	46栃木県	7	0
11宮城県	35	9	23和歌山県	22	5	35鳥取県	21	2	47岐阜県	21	0
12埼玉県	49	9	24岡山県	25	5	36新潟県	5	1	合計	1,746	311

<施設従事者等による虐待>

通報・届出・相談者の内訳



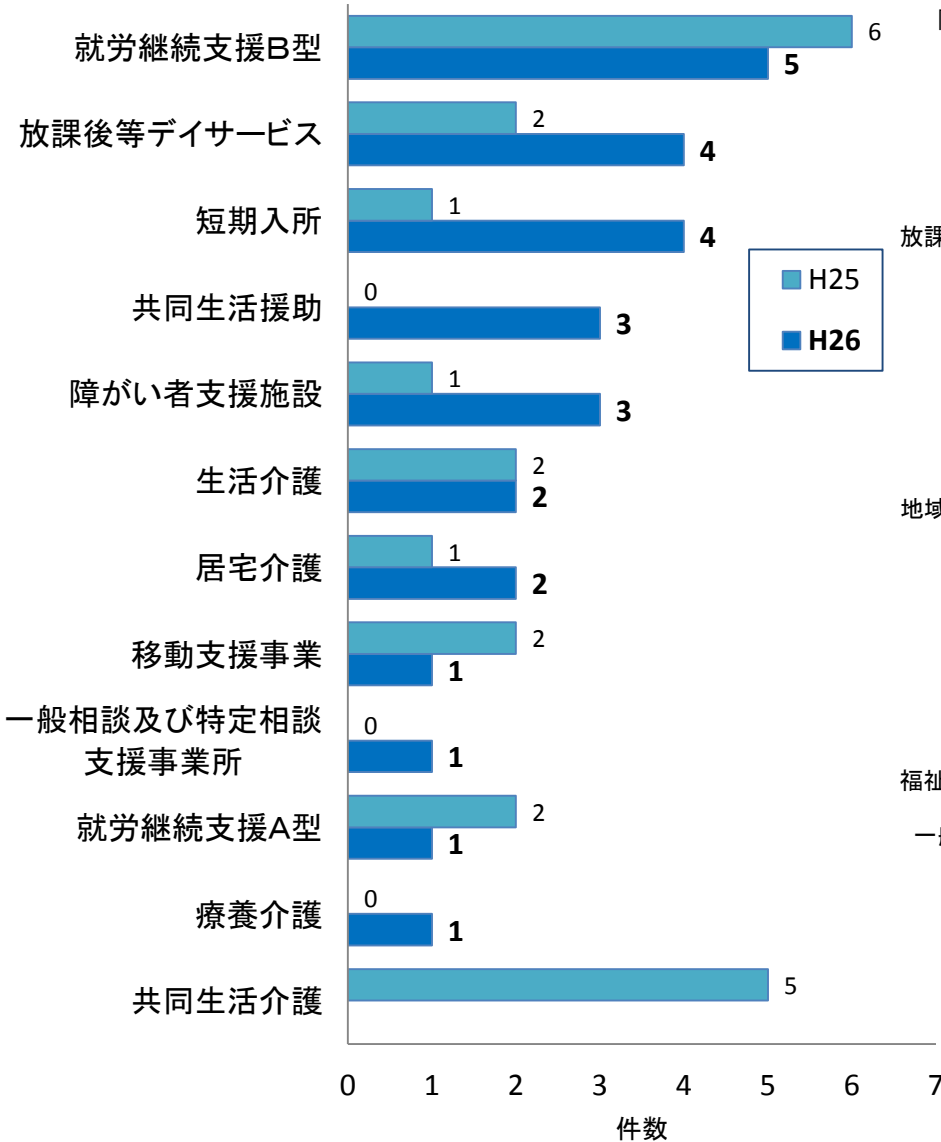
※複数回答有

※通報件数：H25年度152件、H26年度147件の内訳

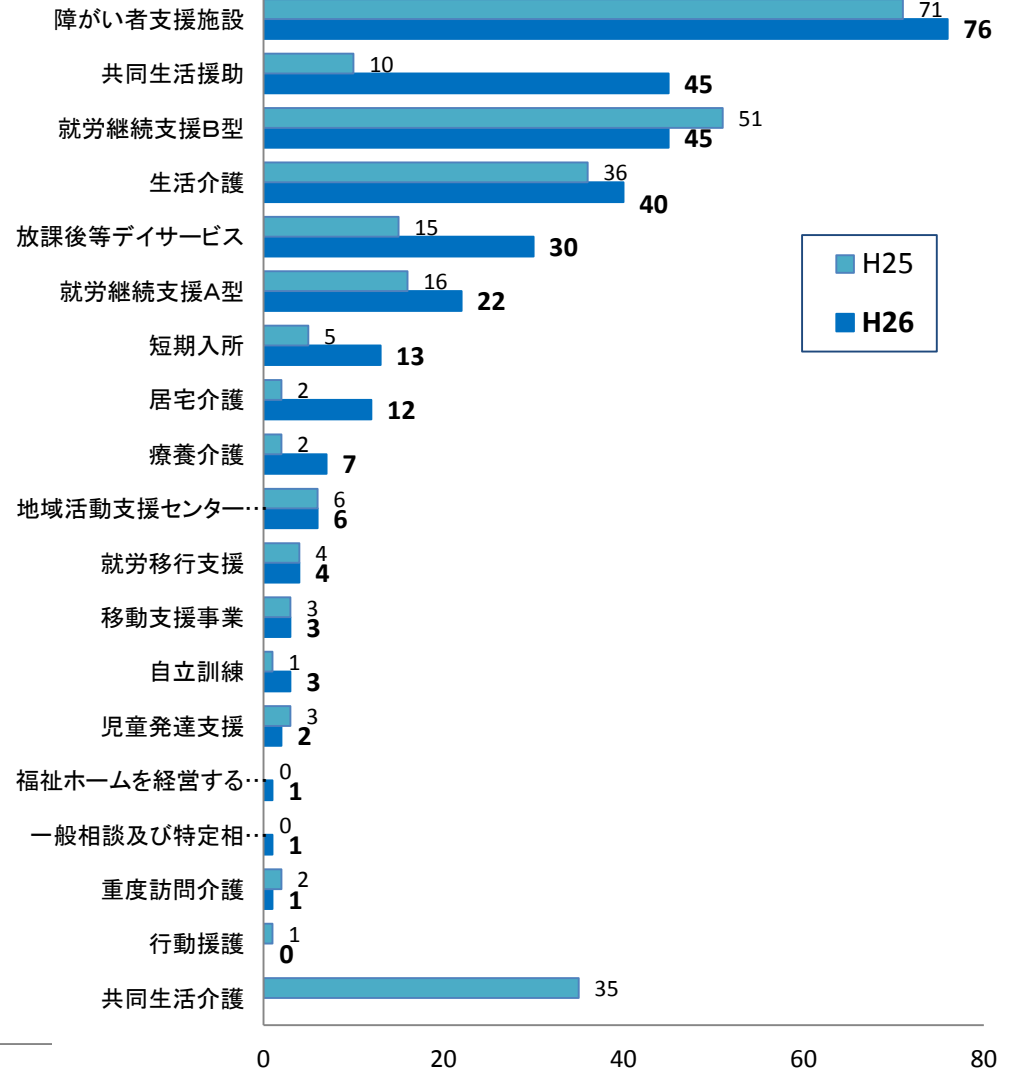
<施設従事者等による虐待>

障がい者福祉施設従事者等による障がい者虐待が認められた事業所種別

府

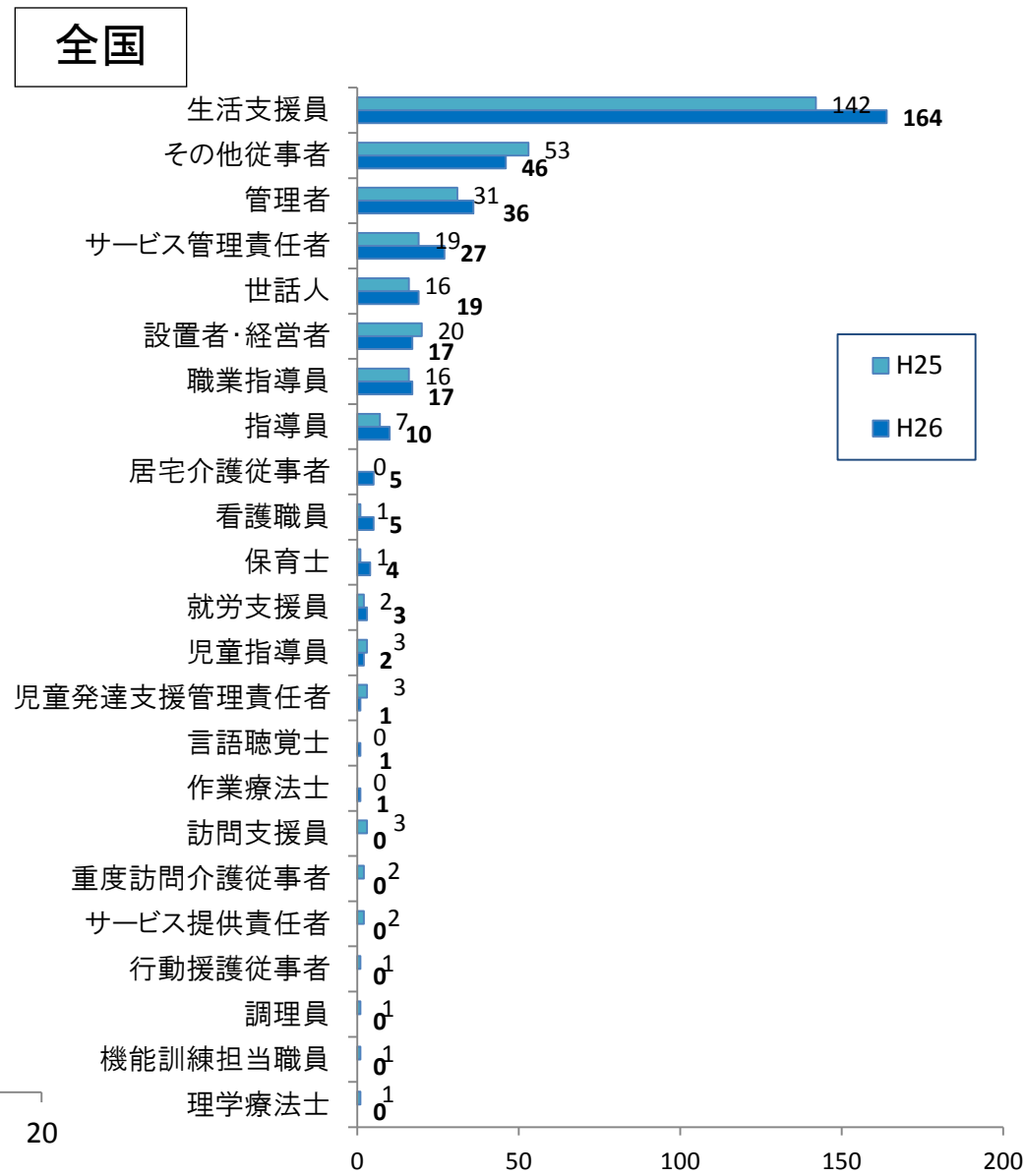
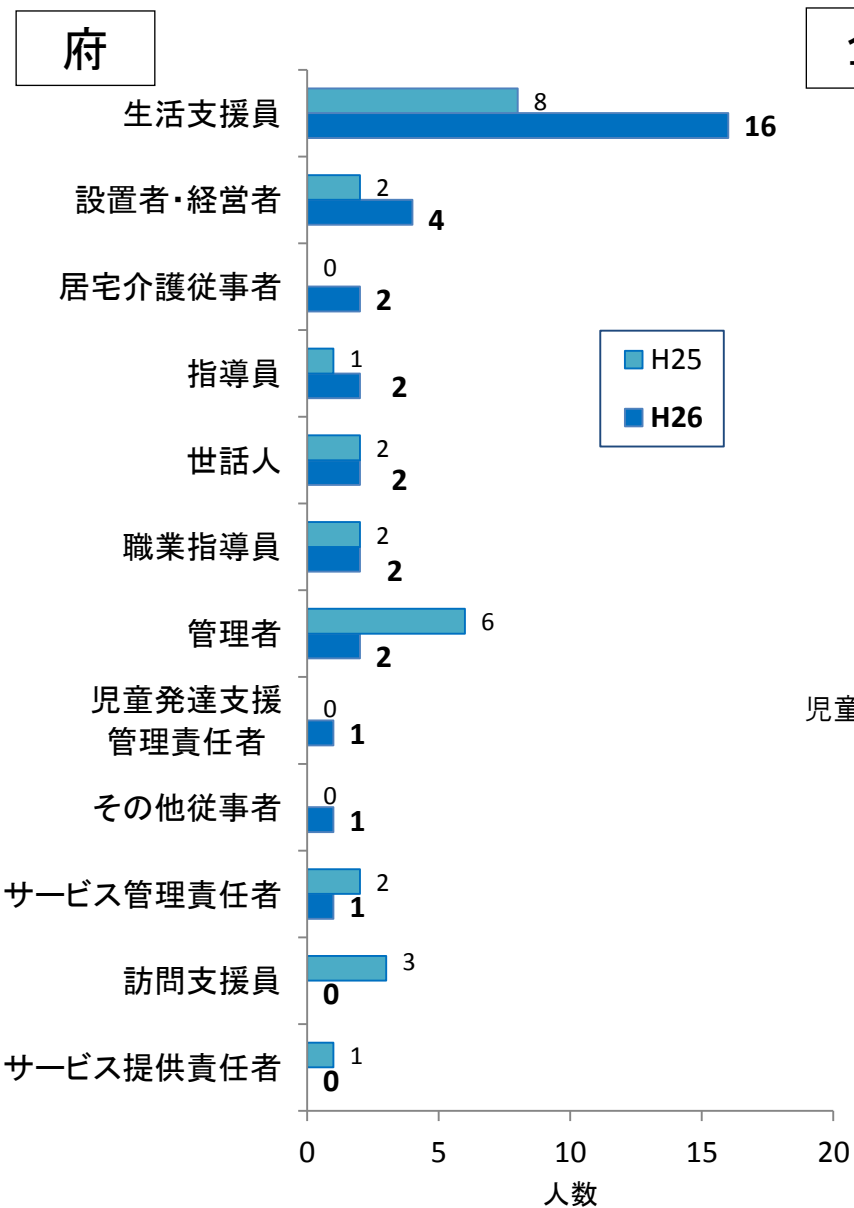


全国



<施設従事者等による虐待>

虐待を行った障がい者福祉施設従事者等の職種



※H26全国の人数については、虐待者を特定できなかった13件を除く²²

<施設従事者等による虐待>

虐待類型・被虐待者の状況

	大阪府				全国	
	H26(53人の内訳)		H25(98人の内訳)		H26(525人の内訳)	
虐待類型 (複数回答)	1	「身体的虐待」 14 (51.9%)	「心理的虐待」 12 (54.5%)	「身体的虐待」 180 (57.9%)		
	2	「心理的虐待」 13 (48.1%)	「身体的虐待」 9 (40.9%)	「心理的虐待」 132 (42.4%)		
	3	「性的虐待」 4 (14.8%)	「経済的虐待」 3 (13.6%)	「性的虐待」 42 (13.5%)		
障がい種別 (複数回答)	1	「知的障がい」 45 (84.9%)	「知的障がい」 92 (93.9%)	「知的障がい」 397 (75.6%)		
	2	「精神障がい」 9 (17.0%)	「身体障がい」 30 (30.6%)	「身体障がい」 115 (21.9%)		
	3	「身体障がい」 7 (13.2%)	「精神障がい」 4 (4.1%)	「精神障がい」 71 (13.5%)		
性別		「男性」 29 (54.7%)	「男性」 54 (55.1%)	「男性」 322 (61.3%)		
年齢層	1	「20～29歳」 17 (32.1%)	「30～39歳」 36 (36.7%)	「20～29歳」 116 (22.1%)		
	2	「～19歳」 14 (35.7%)	「20～29歳」 35 (35.7%)	「40～49歳」 105 (20.0%)		
	3	「40～49歳」 8 (15.1%)	「40～49歳」 19 (19.4%)	「30～39歳」 102 (19.4%)		
障がい支援区分	1	「区分3」 14 (26.4%)	「区分5」 29 (29.6%)	「区分6」 113 (21.5%)		
	2	「区分5」 11 (20.8%)	「区分6」 24 (24.5%)	「なし」 94 (17.9%)		
	3	「区分6」 9 (17.0%)	「区分4」 18 (18.4%)	「区分5」 83 (15.8%)		

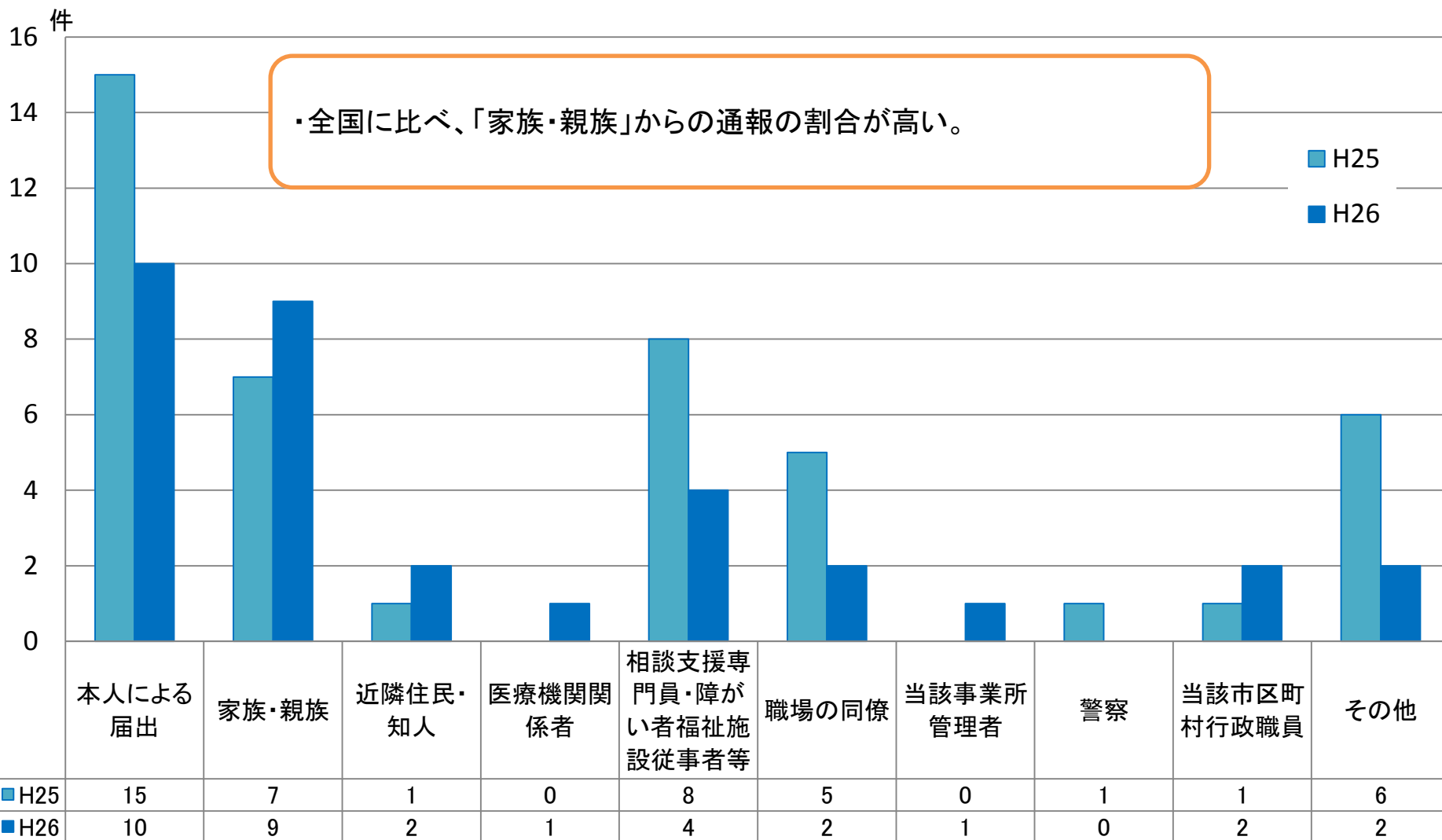
- ・大阪府での障がい福祉施設等従事者による虐待は、H25は22件、H26は27件の内訳。
- ・障がい種別では、知的障がいの方が圧倒的に多い状況は全国の結果と同様だが、次には精神障がいの方の順になっており、全国の2番目が身体障がいの方の順位と違いが見られる。
- ・年齢層は、府では20代以下の方が58.5%と多く、全国では20代以下は36.7%で、20代～40代が61.5%となっている。

※H26大阪府の人数については、被虐待を特定できなかった1件を除く
 ※H26全国の人数については、被虐待者を特定できなかった6件を除く

使用者による虐待について

<使用者による障がい者虐待>

通報・届出・相談者の内訳



※複数回答有

※通報件数：H25年度40件、H26年度33件

使用者による障がい者虐待の状況等について

【全国の状況】平成26年度「使用者による障がい者虐待の状況等」の
取りまとめ結果を公表（H27年8月27日）

（厚生労働省 大臣官房地方課企画室）

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000095550.html>

1. 通報・届出及び虐待と認められた事案について

	通報・届出 (事業所数)	障がい者虐待が 認められた 事案(事業所数)
全体	985 (内、府84)	299 (内、府27)
都道府県からの報告	120 (内、府11)	32
労働局等への相談	663	113
その他労働局等の把握	202	154

2. 被虐待者の人数

	H26	H25
大阪府	38	25
全国	483	393

<使用者による障がい者虐待>

H26大阪労働局における使用者による障がい者虐待の状況等について

3. 事業所の業種

		製造業	医療 福祉	運輸	卸売 小売業	教育	建設業	宿泊 飲食業	サービス 業	不動産 業	合計
大阪府	事業所数	9	6	2	3	1	1	0	4	1	27
	%	33.3	22.2	7.4	11.1	3.7	3.7	0.0	14.8	3.7	—

全国:1位 製造業116(38.8%)、2位 医療・福祉業45(15.1%)、3位 卸売業・小売業32(10.7%)

4. 事業所の規模

		5人 未満	5-29人	30 -99人	100 -499人	500 -999人	1000人 以上	合計
大阪府	事業所数	3	12	7	5	0	0	27
	%	11.1	44.4	25.9	18.5	0.0	0.0	—
全国	事業所数	44	151	73	26	1	4	299
	%	14.7	50.5	24.4	8.7	0.3	1.3	—

5. 被虐待者の障がい種別

		身体障がい	知的障がい	精神障がい	発達障がい
大阪府	人数	7	29	4	1
	%	18.4	76.3	10.5	2.6
全国	人数	67	362	52	11
	%	13.9	74.9	10.8	2.3

※%は、それぞれ被虐待者の人数に対するもので、小数点第2位を四捨五入
 ※被虐待者の障がい種別については重複しているものがある

大阪労働局における使用者による障がい者虐待の状況等について

6. 虐待の種別(複数回答)

		身体的虐待	性的虐待	心理的虐待	放置等	経済的虐待
大阪府	人数	1	1	5	1	32
	%	2.6	2.6	13.2	2.6	84.2
全国	人数	23	8	39	12	419
	%	4.8	1.7	8.1	2.5	86.7

※%は、それぞれ被虐待者の人数に対するもので、小数点第2位を四捨五入

※虐待の種別については重複しているものがある

7. 虐待の事実が認められた事例への対応

	労働基準関係法令 に基づく指導等	障害者雇用促進法 に基づく助言・指導	男女雇用機会均等法 に基づく助言・指導	個別労働紛争解決 促進法に基づく助 言・指導等
大阪府	21件	5件	1件	0件
全国	429件	49件	8件	6件